秀峰筑波

秀坊くん
本校のマスコットキャラクター

秀峰筑波義務教育学校
学校便り　【第９号】
令和７年１月27日

部活動の地域移行へ向けて

昨今、生徒のスポーツ・文化活動のニーズが多様化しており、部活動の枠にとらわれずに様々な種目等を、生徒が選択できる環境が求められています。地域によっては、少子化が進展し、開設できる部活動の種目が限られてしまうことから、参加したい種目がない状況も出てきており、学校部活動を従前と同様の体制で運営することが難しくなってきています。

学校や地域の実態に応じて、スポーツ団体、保護者、民間事業者等の協力のもと、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目指し、このための新たな環境整備を進めていきます。

つくば市では、活動場所や指導者等の準備ができた地域や種目から、順次部活動の地域移行をスタートしています。

秀峰筑波義務教育学校では、市教育局の部活動改革ロードマップとアクションプランを受け、専門性に関わらず教師が顧問を務めるこれまでの指導体制の見直しを行っています。子どもたちのスポーツ・文化活動を持続可能なものにするため、今後の活動についてはどのようにしていくのが望ましいか、方向性を各部活動の保護者会で協議を進めていく予定です。　（教頭　小河原　一幸）

部活動改革ロードマップとアクションプラン

〇令和９年度中の休日の部活動地域移行を達成するためのロードマップとアクションです。

	R6年11月 現在 19%	R7年4月 休日移行 38%	R8年4月 休日 64%	令和９年４月 休日 89%	令和９年８月 休日 移行完了
	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	
地域クラブ体制整備	統括組織の整備/運営支援体制の構築 クラブと学校のマッチング推進/クラブ新設支援				
指導者の質・量	指導者（学びサポーター）バンクの設置 指導者研修制度/フィードバック制度の確立				
財源	事業費算出/補助金　　多様な財源（補助金、行政予算、企業協賛、学校施設の収益化　等）の獲得				
施設	学校施設の地域開放制度の整備/活用の促進 効率的な施設管理方法（施錠、カメラ等）の確立				
試合/大会	中体連制度の見直し/クラブ参加の促進 つくば市独自の試合機会、多様な体験機会の創出				
既存部活動改革	活動量（週3回）の適正化/主体的・多様な活動の推進				

令和８年８月　地域移行により、休日に部活動を行う教員をゼロにする

※地域連携：地域移行を主にしながら、部活動指導員等も活用

（つくば市教育局学び推進課）

スポーツ庁

令和5年度から、休日の 部活動の地域連携・地域移行 が始まります

これから、だんだんと、休日の部活動は**学校単位ではなく、地域クラブ活動として地域で実施**するようになります。これは、**子どもたちのための大改革**です。部活動のこれまでの「当たり前」から抜け出し、地域で行うクラブ活動として、**新しい「当たり前」を創り出しましょう。**

どうして部活動改革を進めるの？

全国で **少子化** が深刻化

- ✓ **1運動部あたりの人数の減少**
  特にチームスポーツなど部員数が足りない
  団体戦に出られない・練習試合ができない！
- ✓ **中学校における部活動設置数の減少**
  やりたい部活が学校にない！

（出典）中学校在学者数：「学校基本調査」／1運動部あたりの人数・運動部活動数：日本中学校体育連盟による調査

他にも…

- ✓ 専門的な指導を受けられない
- ✓ **いろんなスポーツを体験してみたい**
- ✓ 引退後、続けられる場所がない

子供のスポーツ機会を守る
地域の子供は、学校を含めた地域で育てる

- ✓ **地域で多様な活動**を楽しめる
- ✓ **有資格者・専門性のある指導者**
- ✓ **学校を越えた仲間**の獲得
- ✓ スポーツに限らない**多様な体験**
- ✓ **多様な世代**との豊かな交流
- ✓ **引退後も継続**したスポーツ機会

部活動改革ポータルサイト ～学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に向けて～

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00003.htm

室伏長官からのメッセージや部活動に関するガイドライン、全国の事例、各種制度、FAQ、広報素材等を紹介しています。

部活動改革